

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆商工中金株、4月に3度目の入札へ 現状9割売れ残る

・財務省は政府が保有する商工組合中央金庫(商工中金)の株式について、3回目の一般競争入札の日程を公表。残りの全株について4月1日から入札を受け付ける。同社株は商工中金自身に参加した2回目の入札を終えても9割が売れ残っている。商工中金自身のほか中小企業や中小企業団体が入札に参加できる。

◆品位欠く選挙ポスター禁止 法改正、SNS規制は検討継続

・選挙ポスターに品位を求める規定などを設ける改正公職選挙法が参院本会議で可決、成立。SNS上に偽情報や誹謗(ひぼう)中傷が広がる問題への対策などは付則に「必要な措置を講じる」と記載し検討を続ける。公正な選挙を守る法整備は道半ば。改正法は与野党7会派が共同提出した。

◆高止まりの長期金利、16年ぶり高水準 円安進行に身構え

・国内債券市場で長期金利が上昇を続けている。26日には一時1.585%に上昇し、16年5カ月ぶりの高水準をつけた。年度末という季節性に加え、日銀の追加利上げ観測が市場で維持されていることも投資家の慎重姿勢を強めている。為替の円安が再び進行しており、日銀の政策正常化を後押しするとの思惑につながっている。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニックの業務用空調、業界団体の評価書取り消し

・学校や文化ホールなどの公共建築への納入に必要な基準を満たしていなかった業務用空調機器の一部商品について、業界団体の公共建築協会の評価書が取り消しになったと発表。対象となるのは、2014年から24年までの期間に公共建築向けに販売した床置き型業務用空調の30機種135台。取り消しから3年間公共建築向け販売できない。

◆ダイキン工業、室内空気測定のみスタートアップに出資

・ダイキン工業は室内空気質を測定する技術を持つみスタートアップのポピー・ヘルス(カリフォルニア州)に出資したと発表。出資額は明らかにしていない。同社は室内に微粒子を噴霧し、センサーを通じて気流を測定することで換気状況などを把握するシステムを手掛ける。ダイキンのみ子会社と協業し顧客に提供したい考え。

◆2024年下期の首都圏中古戸建て、3期連続下落

・不動産情報サービスのアットホームは同社の不動産情報ネットワークで消費者向けに登録・公開された首都圏中古戸建ての2024年下期(7月～12月)の価格動向を発表。首都圏全体の平均価格は前期比2.6%減の2999万円で、3期連続で下落。前期比プラスとなったのは、都下、横浜市・川崎市の2エリアのみだった。

《 注目商品 》

■YKK AP、郵便ポスト・宅配ボックス一体型「ルシアス 宅配ポスト3型」

・ブロック積みの門袖や塀への施工性を向上させ現行品よりも価格を抑えた郵便ポスト・宅配ボックス一体型「ルシアス 宅配ポスト3型」、リフォームに対応する「ルシアス 宅配ボックス4型」を発売。ブロックのカットを不要にし、施工性を向上。



■コロナ、高圧カパワフル給湯タイプおひさまエコキュート

・太陽光発電を搭載した住宅の余剰電力を活用し、昼間の時間帯に沸き上げ運転を行うヒートポンプ給湯機。給湯圧力を従来機種の約1.5倍に高めた高圧カパワフル給湯タイプで、住宅の2階や3階でも勢いよくシャワーを使用可能。「おそうじconnect」に対応。



■三協アルミ・三協立山、2回分の置き配に対応 機能ポール「フレムスGrand」

・大型100サイズのダンボール箱に対応した宅配ボックスを2つ装備し、2回分の置き配に対応。荷物受け取りの利便性を高め、再配達を削減。宅配ボックスを二重扉にし、施錠の表示を内側の扉につけることで、防犯にも配慮。

